自治体のみなさまへ

化粧品びんは貴重な資源です もっとリサイクルへ！

化粧品びんリサイクルの背景と開始からの経過

背景

従来、化粧品びんには、いろいろな素材があるため、ソーダ石灰ガラスのびんを取り出して、リサイクルすることは困難でしたが、乳白色のびんを除いて、リサイクルすることが可能になりました。

リサイクル開始からの経過

平成19年4月から「化粧品びんリサイクル」を本格化しましたが、令和6年3月時点の取り組み状況を調査するために実施したアンケートでは、回答自治体数931の内、化粧品びんを資源として収集されているのは457自治体（自治体数比：49.6%、人口比：52.2%）となっています。
当促進協議会は、さらに多くの自治体が「化粧品びんリサイクル」に取り組まれるよう、推進してまいります。

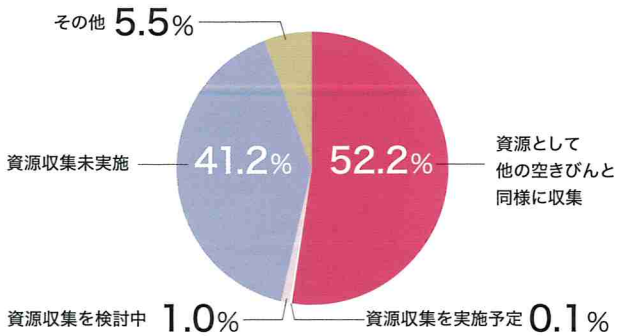
分別収集の対象品目に加えることをご検討ください！

空きびんを「びんtoびん」でリサイクルすると、何度でも新しいガラスびんをつくることができます。
空きびんを砕いたカレットを原料に使用することで、大切な天然資源が節約できるだけでなく、
エネルギーの節約にもつながり、CO_2排出量の削減や地球温暖化の防止に役立ちます。
この機会に、貴重な資源である化粧品びんを、ぜひ対象品目に加えてください。

化粧品びんリサイクルのご検討については

再商品化を委託されているカレット事業者にご連絡ください

アンケート
「化粧品びんのリサイクル」について【人口比】



回収数：931自治体／1,741自治体
回収率：53.5%（自治体数ベース）
79.3%（人口ベース）
実施期間：2024年3月

※詳細は、当促進協議会のWebサイト「全国自治体ガラスびんリサイクル調査」で、ご紹介しています。
https://www.glass-3r.jp/3r_suishin/r_current/index.html

ガラスびん3R促進協議会
〒169-0073 東京都新宿区百人町3-21-16 日本ガラス工業センター1階　TEL.03-6279-2577　FAX.03-3360-0377
https://www.glass-3r.jp

すべての**空きびん**を**資源**にするために

空きびん以外のものを混ぜない！

ガラスびんリサイクルで利用できないもの

ここに掲載しているものは、新しくつくるガラスびんの強度や品質に大きく影響するため、混ぜないでください

耐熱ガラス



耐熱ガラス製の調理器・食器・哺乳びんは
ガラスびんと成分が異なります。

陶磁器



茶碗・湯のみ・皿・鉢やコーヒーカップなどの
陶磁器類は、混ぜないでください。
●陶磁器と似ている乳白色ガラスも、混ぜないでください。
●セラミック製のミルの刃は、取り外してください。

照明・建材用ガラス



いろいろな種類の電球類、蛍光灯や板ガラスは、
ガラスびんと成分が異なります。

ガラス食器



クリスタルガラス製のコップ、ボウル、皿、花びん、
灰皿はガラスびんと成分が異なります。

キャップ



金属キャップ、アルミキャップ、プラスチック製の
外キャップやコルク栓は、取り外してください。

薬品びん



農薬や劇薬などが入っていたびんは、リサイクルす
る際、有毒なガスを発生することがあり危険です。
●飲み薬が入っていたびんは、リサイクルできます。

ガラスびん3R促進協議会
https://www.glass-3r.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町3-21-16 日本ガラス工業センター1階　TEL.03-6279-2577　FAX.03-3360-0377